

マーケットの動き（2020年9月28日～10月2日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利が小幅に上昇しました（債券価格は下落）。材料としては、英国のEU（欧州連合）離脱に関する月内合意の観測、米国の追加経済対策への期待、トランプ大統領の新型コロナウイルス感染報道がありましたが、どれも方向性を決めるものではなく、米国大統領選挙が佳境となる中で動意に乏しい展開となりました。

ドイツ国債市場も、おおむね米国国債市場と連動する推移となりました。

投資環境見通し（2020年10月）

長期金利は、米国、ドイツとも方向感に欠ける展開

米国：低金利環境が長期化するとの見方が強まる中、財政拡張下においてFRBの国債買入れ継続から需給悪化も抑制されるとみられ、長期金利はレンジ内での動きにとどまると予想しています。

欧州（ドイツ）：新型コロナウイルスの感染再拡大による景気回復ペースの鈍化が懸念されていますが、ECBのさらなる金融緩和余地は限定的とみられ、長期金利は横ばいでの動きを予想しています。

	10月2日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	0.70	0.04	0.05	0.08	▲0.90
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	492.21	0.18%	▲1.27%	3.35%	6.04%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202010_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2019年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成